

平成 22 年 9 月分電力需給状況

需要の概要

平成 22 年 9 月の販売電力量は、26 億 6 千 1 百万キロット時、前年比 113.0% となった。

[需要の内訳]

家庭用などの「電灯」は、猛暑により、8 月から 9 月にかけて気温が前年に比べ高く推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 120.5% となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 110.0% となった。

産業用の「大口電力」は、繊維や鉄鋼、機械が前年を上回ったことなどから、前年比 107.7% となった。

<参考>
9 月分の販売電力量としては、平成 19 年 9 月に次ぐ、過去 2 番目の水準となった。

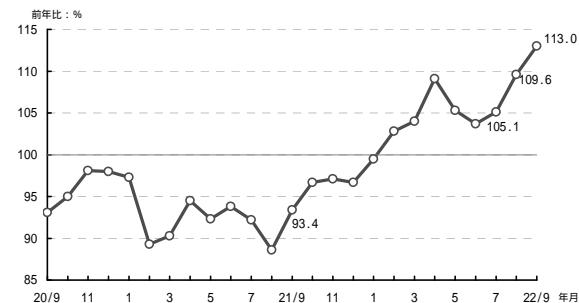
- 電灯は、記録的な猛暑の影響により過去最高の水準。
- 大口電力は、リーマンショック前の 20 年度上期平均と比べ 1 割程度低く、過去 3 番目の水準。

需要実績

		電 力 量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	942	120.5
	電 力	208	114.9
	計	1,150	119.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	622	110.0
	産業用電力	889	107.5
	うち大口電力	(678)	(107.7)
		計	1,511
販売電力量 計		2,661	113.0
融 通		465	131.4

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計

(参考 1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		22/9月	22/8月	22/7月
織 織	32	119.3	128.9	119.9
紙・パルプ	113	96.1	101.9	97.3
化 学	102	99.4	104.6	104.5
鉄 鋼	57	108.9	122.2	160.5
機 械	168	115.8	118.1	112.7
そ の 他	206	111.2	111.5	108.6
合 計	678	107.7	111.9	111.2

(参考 2) 4 県都平均気温

	22/8月				22/9月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	29.2	30.2	29.6	29.7	29.3	26.7	23.2	26.4
平年差	1.5	2.8	2.6	2.4	3.7	2.8	1.3	2.6
前年差	1.5	2.0	2.6	2.1	3.0	3.7	1.1	1.8

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 72.0% となった。
- 水力は、前年の渇水の影響により、前年比 142.3% となった。
- 火力は、原子力の減少、需要の増加などにより、前年比 156.9% となった。

供給実績

	電力量	前年比	備 考	
			出水率	(%)
原 子 力	(32)	1,058	72.0	
水 力	(7)	220	142.3	
火 力	(60)	1,984	156.9	
新エネ	(1)	26	136.8	
発受電計	(100)	3,288	113.1	
その他の供給		58		
供 給 計		3,229	112.4	

注1. 新エネには西条バイオマス(1百万キロット時)を含む

注2. ()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考 3) 各県別の需要状況

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川				
販売電力量計	(113.0)	570	(111.6)	443	(111.8)	922	(115.4)	726

注. ()内は前年比